

**東急アライアンスプラットフォーム2021 Demo Dayを開催、最優秀賞は株式会社パンフォーユーが受賞
～スタートアップ企業との協業件数は累計100件を突破！～**

東急株式会社

当社は、3月22日(火)にShibuya Open Innovation Lab(SOIL)において、スタートアップを中心とした企業との事業共創を推進する「東急アライアンスプラットフォーム」(以下、TAP)の2021年度Demo Day(以下、デモデー)を開催しました。今年度のデモデーでは、「東急賞」「渋谷賞」「二子玉川賞」「SOIL賞」「オーディエンス賞」を決定し、最優秀賞にあたる「東急賞」には、株式会社パンフォーユーを選定しましたので、お知らせします。

株式会社パンフォーユーは、「新しいパン経済圏を作り、地域経済に貢献する」というミッションの下、地域のパン屋さんと消費者をつなぐプラットフォームを展開しています。パンフォーユーの独自の冷凍技術により、パンの賞味期限が長くなることで食品ロスが削減される上、パンを焼く時間を選ばないため働き方改革につながるといったサステナブルな点の親和性が高く、東急電鉄株式会社、株式会社東急レクリエーション、株式会社東急グルメフロント、東急リゾート&ステイ株式会社の4社との事業共創につながりました。今後も4社との事業共創を深めつつ、そのほか東急グループ各社との幅広い事業共創を推進し、持続可能な社会の実現と地域経済の活性化に取り組みます。

そのほかの8社とも、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングなどの結果を踏まえ、業務提携などを検討します。また、今回参画した東急グループ19社のうち、最も積極的に応募企業との事業共創に取り組んだ事業者を表彰する「ベストアライアンス賞」では、株式会社東急レクリエーションを選定しました。

当社は、2015年度から、スタートアップを中心とした企業との事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施してきましたが、オープンイノベーション活用の重要性がより増す中で、東急グループ内の誰もがオープンイノベーションを当たり前のこととして実行できる状態にし、スタートアップ企業などから選ばれ続ける企業グループへと進化すべく、2021年度に「東急アライアンスプラットフォーム」に名称変更およびリブランディングを行いました。

これに伴い、TAPの事業共創の対象領域は、既存領域に「デジタルプラットフォーム」、「脱炭素・サーキュラーエコノミー」を加えた19領域に拡充し、TAPホームページには、東急グループが19領域ごとに抱える課題や、新たに創出していきたい顧客提供価値へのニーズを掲載し、随時更新を行っています。さらに、オウンドメディア「TAP Library」の記事や動画を通して、その課題やニーズの背景を発信しています。

こうした取り組みを進めた結果、今年度は115件の応募(過年度累計906件)に対して、事業共創の実施件数が前年度と比較して約2倍の35件に増加しました。テストマーケティングなどの協業が過年度累計105件(実施決定の件数とTAP事務局が連携する外部プログラムなどの実績も含む)となり、このうち、32件の事業化や本格導入、8件の業務・資本提携が実現しています。

2022年度からは東急ジオックス株式会社、東急バス株式会社が新たに参画事業者へ加わることで、事業共創機会の最大化を目指します。当社は本年9月に創立100周年を迎えますが、今後も、スタートアップ企業などとの事業共創によって、多様化するニーズに迅速に対応し、当社ならではの社会価値を提供することで、サステナブルな街づくりを推進していきます。

詳細は別紙の通りです。



▲「東急アライアンスプラットフォーム2021」Demo Day授賞式の様子(左:参加企業9社 / 右:「東急賞」受賞企業 株式会社パンフォーユー)

以上

【別紙】

「東急アライアンスプラットフォーム2021」 Demo Day開催概要および受賞企業

■開催概要

- ・日 程: 2022年3月22日(火) 14時30分～18時00分
- ・場 所: Shibuya Open Innovation Lab(SOIL)
(住所/東京都渋谷区渋谷一丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階)

■受賞企業

- ・東急賞(賞金1,090,000円):株式会社パンフォーユー
- ・渋谷賞(賞金428,000円):株式会社ウゴトル
- ・二子玉川賞(賞金250,000円):エヴィクサー株式会社
- ・SOIL賞(賞金100,000円):株式会社3rdcompass、株式会社TypeBeeGroup、株式会社MOVE、ユカイ工学株式会社、株式会社ロスゼロ、株式会社和空プロジェクト
- ・オーディエンス賞(賞金200,000円):株式会社ロスゼロ

■審査員

(外部審査員)

- ・グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 安達 俊久 氏
- ・SBIインベストメント株式会社 執行役員 CVC事業部長 加藤 由紀子 氏
- ・Spiral Capital シニアアソシエイト 立石 美帆 氏

(当社審査員)

- ・東急株式会社 取締役社長 社長執行役員 高橋 和夫 (審査員長)
- ・東急株式会社 執行役員 フューチャー・デザイン・ラボ管掌 東浦 亮典

■東急グループ内表彰

- ・ベストアライアンス賞:株式会社東急レクリエーション

■Demo Day登壇企業との事業共創内容

1. 株式会社ウゴトル

【共創企業:東急スポーツシステム株式会社】

- ・所在地: 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル 503
- ・代表者名: 西川 玲
- ・設立年月: 2010年6月
- ・サービス名: ウゴトル for Lesson
- ・会社URL: <https://ugotoru.com>



【事業共創内容】

動きの「学ぶ」「伝える」をテクノロジーで支援するウゴトルは、スポーツ指導の現場において撮影された動画の編集、線やコメントによる添削、配信までを一体的にカバーするプラットフォーム「ウゴトル for Lesson」を提供しています。2021年2月からは、東急スポーツシステムが運営する東急スイミングスクールあざみ野にて同サービスの実証実験を行い、映像指導の価値や継続性の検証を行いました。その結果、2021年5月から同施設の会員約100名を対象に「オンラインスイミングレッスン」としてサービス提供を開始しました。サービスを通して生徒の改善点や成長の可視化につながることから、継続率95%を実現しています。今後は、同サービスの他店舗への展開や水泳以外のスポーツ指導への活用も検討していくとともに、蓄積されたデータから指導品質の向上を目指すことで、新たな成長体験を創出していきます。将来的には、スポーツに限らず映像指導の幅を広げていくことで、両社で“成長を楽しめる街づくり”を目指します。

2. エヴィクサー株式会社

【共創企業:株式会社東急レクリエーション】

- ・所在地: 東京都中央区新川1-17-22
- ・代表者名: 瀧川 淳
- ・設立年月: 2004年3月12日
- ・サービス名: 字幕メガネ 音響通信
- ・会社URL: <https://www.evixar.com>



【事業共創内容】

音を使って同時に大人数へデータを送ることができる独自の音響通信技術を持つエヴィクサーは、その技術を活用して映画のバリアフリー字幕をスマートグラスに表示する「字幕メガネ」サービスを提供しています。障害をお持ちのお客さまが大切な方と互いにストレスなく一緒に映画を楽しむことが当たり前になる環境づくりを模索していた東急レクリエーションと共に、心豊かな社会づくりの一環として映画のバリアフリー上映を社会インフラとするために、字幕メガネの導入を進めてきました。109シネマズ港北での実証実験を経て、2021年7月、109シネマズ富谷より順次全国の109シネマズへ拡大、2021年11月には全国展開している映画興行グループとしては初となる109シネマズ全館への導入が完了しました。サステナブルな取り組みの次なる展開としては字幕メガネに留まらず、映画館を訪れたお客さまへのNFT(Non-Fungible Token)の配布に独自の音響通信技術を活用する企画を検討しています。そのNFTを持つお客さまが映画作品を鑑賞された際に限定のNFT特典をプレゼントするイベントを実施するなどの新たなシネマプロモーションの在り方を、引き続き両社で追求していきます。今後も両社で、音のインターフェースの活用を通して人々に笑顔が溢れるインクルーシブな街づくりに挑戦していきます。

3. 株式会社3rdcompass

【共創企業:株式会社東急百貨店】

- ・所在地: 東京都渋谷区渋谷3-5-16 スクエアビル2階
- ・代表者名: 木村 幸太郎
- ・設立年月: 2020年4月14日
- ・サービス名: エドノイチ
- ・会社URL: <https://edono1.com/profile/>



【事業共創内容】

「生産地と消費地をグッと(GOOD)近くに」をコンセプトとして生産者販売配送支援サービス「エドノイチ」を展開する3rdcompassは、独自の物流を用いて日本全国の産直品を美味しさと鮮度を保ちながら消費者にお届けしています。大消費地である首都圏と生産地をより身近にすべく、東急百貨店との取組みの第1弾として、2022年4月中旬から「東急百貨店ネットショッピング」内にて広島産の産直品を集めたオンライン物産展を開催します。広島ホームテレビと共同で集めた商品の動画コンテンツなどを用いてネットショップ上で魅力を表現することで、リアル店舗のような臨場感と新たな購買体験を提供します。第2弾以降は、東急百貨店の実店舗でもデジタルサイネージなどを駆使した物産展を展開し、その後は常時取り扱いも検討していくことで、魅力ある地域産品の首都圏への進出スキームの構築を目指します。今後も両社で物流網やリアルとオンラインのタッチポイントを活かした共創を進めることで「価値が繋がる仕組み」をデザインし、生産地と消費地の垣根をなくしていきます。

4. 株式会社TypeBeeGroup

【共創企業:株式会社東急エージェンシー、株式会社東急レクリエーション】

- ・所在地: 東京都世田谷区太子堂3-14-4 エスペランサ三軒茶屋3F
- ・代表者名: 遠藤彰二
- ・設立年月: 2012年9月
- ・サービス名: TapNovel
- ・会社URL: <https://type-bee.co.jp/>



【事業共創内容】

ゲーム感覚でイラスト付きの小説(ゲーム小説)を読むことができる「TapNovel(タップノベル)」を運営するTypeBeeGroupは、小説でも漫画でもないスマホ時代の新しいエンタメコンテンツを開発しています。2021年9月には、東急エージェンシー0▶1メディアビジネスユニットno.00(ナンバーゼロゼロ)と株式会社LiveParkと共同で、TapNovelの話題作を人気声優の西本りみ氏が朗読、その模様をライブ配信するイベントを行いました。イベントで収録された音声を新たな「ボイス機能」として搭載することで、読了率を8.9%向上させることに成功しました。2つ目の取り組みとして、2022年1月からは東急エージェンシーと共同で、渋谷をテーマにひと駅で読めるショートストーリーを募集する「第1回ひと駅Novelコンテスト」を開催し、413件の応募がありました。2022年7月には、最優秀作品の紹介映像を渋谷スクランブル交差点の大型ビジョン「Q'S EYE」や東急線の電車内ビジョン「TOQビジョン」にて放映します。更には、2022年3月からは「第1回『キュンとする話』コンテスト」を実施しており、受賞作品は副賞として、2022年10月に東急レクリエーションが運営する109シネマズにて人気声優による朗読劇を行います。今後も両グループで、“世界中の人々が熱狂するエンタメIP”を東急線沿線から共創していきます。

5. 株式会社パンフォーユー

【共創企業：東急電鉄株式会社、株式会社東急レクリエーション、
株式会社東急グルメフロント、東急リゾーツ&ステイ株式会社】

- ・所在地：群馬県桐生市本町5-368-9
- ・代表者名：矢野健太
- ・設立年月：2017年1月
- ・サービス名：パンスク/パンフォーユーBiz/全国パン共通券
- ・会社URL：<https://panforyou.jp/>



【事業共創内容】

「新しいパン経済圏を作り、地域経済に貢献する」というミッションの下、独自の冷凍技術を持つパンフォーユーは、地域のパン屋さんと消費者をつなぐプラットフォームを展開しています。親和性の高い東急グループとは複数の事業共創を開始しています。2021年5月には東急電鉄の提供する環境配慮型サブスクリプションサービス「TuyTuy」の実証実験に参加し、冷凍パンの定期便サービス「パンスク」のクーポンを提供することで食品ロス削減の啓発に取り組みました。東急レクリエーションとは、2021年10月から109シネマズ川崎でパン屋さんの手作りパンを販売したほか、映画作品とのコラボパンを展開し、冷凍パンを活用することでバックヤードの在庫ロス問題の解決にも取り組んでいます。2021年12月からは、東急グルメフロントが展開するベーカリーチェーン12店舗にて全国パン共通券を導入し、新たなパン経済圏による地域の活性化を推進しています。さらには、2022年2月からは東急ステイ用賀にて朝食用に冷凍パンのトライアル展開を開始し、お客さまからご好評をいただいています。今後も両グループでさまざまな事業共創を推進していくことで、新しいパン経済圏を作り、サステナブルな社会の実現と地域経済の活性化に貢献していきます。

6. 株式会社MOVE

【共創企業：株式会社東急モルズデベロップメント】

- ・所在地：東京都目黒区柿の木坂1-4-3アイボリーマノール
- ・代表者名：羽根田 竜樹
- ・設立年月：2015年4月10日
- ・サービス名：D2Cアパレル
- ・会社URL：<https://move.tokyo/>



【事業共創内容】

“クリエイティブ×テクノロジーで小売を変革する”をミッションに、デジタルを駆使した独自スキームの無在庫型D2C自社ブランドとSNSマーケティング支援事業を展開するMOVEは、SNSを軸にブランドを開発し、付加価値を外へ紡いでいく循環型D2C事業に挑戦しています。

小売業を中心とした日系企業に対し、中華人民共和国香港特别行政区（以下、香港）の物件仲介や販売委託を請け負う、東急モルズデベロップメント（※）と協業し、2022年4月にMOVEの自社ブランド「andrabbit」が「THE SHIBUYA109 STORE」（所在地：香港・旺角）へ出店します。

今後は、MOVEの自社ブランドに留まらず、他社ブランドの海外進出や香港発ブランドが日本国内へ進出する際に、両社でリアル・デジタルの両面での支援を実施していきます。両社は、国内外のブランドを支援していくことにより、将来的には東急線沿線と海外を結ぶ新たな懸け橋となることを目指します。

※ 株式会社東急モルズデベロップメントは、東急株式会社が出資・運営する香港事業（Tokyu Malls Development (Hong Kong) Limited）を受託しており、その業務の一環として、国内小売企業の香港進出を支援。「日系企業の香港進出におけるゲートウェイ」を目指し活動しています。

7. ユカイ工学株式会社

【共創企業：株式会社東急百貨店】

- ・所在地：東京都新宿富久町16-11 武蔵屋スカイビル101号
- ・代表者名：青木 俊介
- ・設立年月：2007年12月
- ・サービス名：BOCCO emo（ボッコ・エモ）
- ・会社URL：<https://www.ux-xu.com/>



【事業共創内容】

コミュニケーションロボットを通して日々の生活を優しくより豊かにするウェルビーイングな社会の実現を目指すユカイ工学は、次世代コミュニケーションロボット「BOCCO emo」や、周辺サービスやデバイスとの連携を強化するためのプラットフォーム「BOCCO emo APIs」を展開しています。お客さまとの新たなコミュニケーション方法を模索している東急百貨店とは、2021年9月に東急百貨店本店にて開催した「Autumn Fair(オータムフェア)」において、ポップアップストアの展開や各フロアでBOCCO emoをご案内係として活用しました。BOCCO emoの認知を高めたことによる次の共創ステップとして、お客さまへの「お買い物コンシェルジュサービス」の実証実験を2022年4月に実施予定です。今後もユカイ工学と東急グループで、家ナカと街ナカをロボットが優しくつなぐ、ウェルビーイングな街づくりを行っていきます。

8. 株式会社ロスゼロ

【共創企業:株式会社東急百貨店、東急株式会社 沿線開発事業部】

- ・所在地:大阪市西区北堀江1-1-21 四ツ橋センタービル9階
- ・代表者名:文美月
- ・設立年月:2018年4月
- ・サービス名:ロスゼロ
- ・会社URL:<https://www.losszero.jp/>



【事業共創内容】

『「もったいない」ものに見出し価値を見出し社会に活かす、持続可能な社会を実現する』をビジョンに掲げる株式会社ロスゼロは、作り手と食べ手をつなぐ食品ロス削減プラットフォーム「ロスゼロ」や、余剰分の食品が発生するタイミングで商品が届く「ロスゼロ不定期便」を展開しています。

ロスゼロと東急は、街づくりの中で食品ロス問題に触れる機会を創出するための取り組みとして、2021年10月に東急が大井町エリアで運営するコミュニティカフェ「PARK COFFEE」でロスゼロ商品の販売会を実施しました。加えて、食品ロス問題を日常的に消費者に知ってもらうためには、今後もコミュニケーションの場を継続的に持つことが望ましいという双方の想いが一致し、2022年2月よりPARK COFFEEでのロスゼロ不定期便の受付を開始しました。更に、2022年5月中旬(予定)から東急百貨店本店でロスゼロ商品の販売と不定期便の受付を行うポップアップイベントを行います。今後もロスゼロと東急グループは販売会やロスゼロ不定期便の拡大などを通して、「もったいない」ものに見出し価値を見出す優しい街づくりを行っていきます。

9. 株式会社和空プロジェクト

【共創企業:東急電鉄株式会社】

- ・所在地:大阪市北区東天満1丁目11番13号
- ・代表者名:平田 益男
- ・設立年月:2015年12月
- ・サービス名:宿坊創生プロジェクト
- ・会社URL:<https://waqoo-pj.jp/>



【事業共創内容】

社寺隆昌プラットフォームを確立し、歴史と伝統を未来へつなげることをミッションに掲げる和空プロジェクトは、全国寺社観光協会の協力会社として、宿坊の企画・運営や地域振興、寺社の収支改善につながる取り組みを行っています。

東急電鉄とは、2022年4月から、オリジナルデザインの乗車券・御朱印帳のセット販売と、東急電鉄全8路線の沿線にある51か所(予定)の神社仏閣の協力のもと、各寺社への訪問時に特別御朱印がもらえるイベントを実施予定です。今回のイベントでは、特別御朱印巡りに参画予定の東急線沿線の各寺社にて、手と口を清めるために設けられた水場・手水舎に、色とりどりの花を浮かべた花手水を展開します。寺社にて花手水を行うにあたり必要な花は、昨今社会問題化している「廃棄になる花＝ロスフラワー」を活用することで、フラワーロスの削減にも貢献します。今後も両社で東急線沿線の寺社と協力し、東急線沿線のお客さまと神社仏閣の接点を創出するイベントなどを実施していくことで、彩りある生活や日本文化の継承と発展に貢献します。

【参考】

■「東急アライアンスプラットフォーム」について

(1) 概要

2015年度から、スタートアップを中心とした企業との事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施し、2021年8月より「東急アライアンスプラットフォーム」に名称変更およびリブランディングを行いました。

「交通」「物流・倉庫」「不動産」「建設」「百貨店・スーパー・ショッピングセンター」「広告・プロモーション」「デジタルマーケティング」「カード・ポイント・ペイメント」「スマートホーム・スマートライフ」「ツーリズム」「ホテル・ホステル」「エンターテインメント」「スポーツ」「ヘルスケア」「教育・カルチャー」「電力」「セキュリティ」「デジタルプラットフォーム」「脱炭素・サーキュラーエコノミー」の19の事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集。ニーズなどがマッチした企業とは、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングなどを実施、その結果により東急グループ各社との業務提携なども検討します。

東急アライアンスプラットフォームは24時間365日応募受付をしており、応募月の翌月中旬には検討結果を一次回答しています。

なお、2021年度デモデー各賞受賞対象企業は、今年度、テストマーケティングなどの事業共創を開始、もしくは実施することが決定した企業が対象です。デモデー後は、引き続き事業共創を進めていく予定です。

(2) 累計協業数(2022年3月22日時点)

	TAP	外部プログラムなど※	合計
協業数	95件(実施決定の11件を含む)	10件	105件
うち事業化・本格導入数	31件(実施決定の1件を含む)	1件	32件
うち業務・資本提携数	7件	1件	8件

※TAP 事務局が連携するコンソーシアム型プログラムや他社プログラムなどをきっかけとした案件

(3) 直近年度の協業数(2022年3月22日時点)

	TAPと外部プログラムなどの合計
2020年度協業数	15件
2021年度協業数	35件
2022年度協業数(実施決定)	11件

(4) 東急アライアンスプラットフォーム参画企業一覧(全21社※五十音順)

- ・ Connected Design株式会社
- ・ 株式会社SHIBUYA109エンタテインメント
- ・ 東急株式会社
- ・ 株式会社東急エージェンシー
- ・ 東急カード株式会社
- ・ 東急建設株式会社
- ・ 株式会社東急シェアリング
- ・ 東急ジオックス株式会社(2022年度から参画)
- ・ 株式会社東急ストア
- ・ 東急スポーツシステム株式会社
- ・ 東急セキュリティ株式会社
- ・ 株式会社東急総合研究所
- ・ 東急電鉄株式会社
- ・ 東急バス株式会社(2022年度から参画)
- ・ 株式会社東急パワーサプライ
- ・ 株式会社東急百貨店
- ・ 東急不動産株式会社
- ・ 東急不動産ホールディングス株式会社
- ・ 株式会社東急ホテルズ
- ・ 株式会社東急モールズデベロップメント
- ・ 株式会社東急レクリエーション